



■活動日：2022年10月22日（木） 9：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 8名

■活動内容

- ・今回の活動では、人手の多い午前中にフクロウの巣箱とトレイルカメラの架設、人手の減った午後に間伐候補の木にマーク付けを行いました。
- ・さっそく新トレイルカメラが成果を出してくれました。ムササビの巣箱を狙っていたのですが、10月17日にムササビの画像、10月18日にはフクロウと思われる画像が取れました。追加購入決定です。
- ・果樹の収穫は「まだ未熟」のため、残念ながら次回活動でという事になりました。
- ・参加頂いた8名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（11月12日）は、フクロウ（2個目）・ムササビの巣箱架設と間伐のための草刈りです。

フクロウの巣箱架設



巣箱を車で運べるのは林道まで、後は二人がかりで運びました。



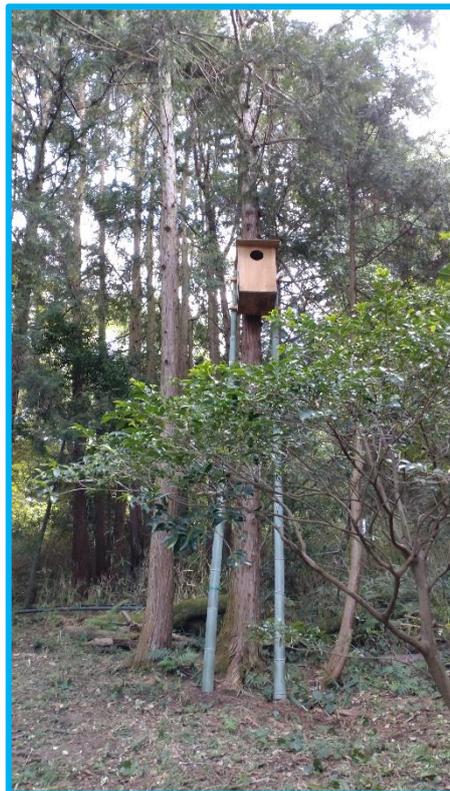
巣箱背面の横木に竹を番線で固定します。



木に滑車を取り付けて、巣箱を引き上げるためロープを伸ばします。



巣箱は皆で引き上げました。この後、巣箱を木に固定。巣箱カメラのUSBケーブルと5mの延長ケーブルを伸ばして地面まで降ろしました。端子はビニール袋で保護。これを逆さまに固定したペットボトルに差し込んで雨対策をしています。観察台まで伸ばす20mのブースターケーブルは営巣確認後設置します。（今年も営巣してくれると良いのですが。）



巣箱の高さは、5mぐらいになるよう設置しています。

トレイルカメラのリフト



赤丸がカメラを取り付けたリフト。赤角がキャッチャ。蟻引き糸で引き上げます。



カメラとリフトがキャッチャに収まりました。フクロウの巣箱を狙っています。



間伐マーク付け



元気な残したい木に比べ、細かったり、枯れかけていたりする木を、間伐対象として、ビニールテープを巻付けました。



この2年間、植栽地の草刈りをしていませんでした。
間伐には次回活動で草刈りが必要です。

ムササビとフクロウ



新トレイルカメラで静止画2枚と動画1枚が取れました。前回同様、上に向かって木をよじ登って来たようです。動画では、この後、下側の巣箱に飛び移り上側巣箱の下に潜り込もうとする様子が記録されています。

活動頂いた8名のメンバーの皆さんお疲れさまでした。



作業中はマスク着用でしたが、撮影用にマスクを取ってもらいました。活動お疲れさまでした。

気がかりな事、上の画像が記録された翌日に、最後にムササビが居た辺りにフクロウと思われる姿が記録されています。(下の楕円、見えるかな??)ムササビがフクロウの餌食になってしまったので無ければ良いのですが。

